

寄贈図書リスト

宇宙ビジュアル大図鑑, 高橋典嗣監修, A4変形, 112
頁, 780円+税, 洋泉社

驚きの星空撮影法, 谷川正夫, A5判, 144頁, 2,300
円+税, 地人書館

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお, 原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

国立天文台研究教育職員 (TMT 推進室准教授)

1. 准教授1名
2. (1) TMT推進室 (着任後先端技術センターに異動)
(2) 東京都三鷹市 (米国カリフォルニア州パサデナ等への長期出張あり)
3. 天文学・物理学および関連する工学分野
4. 国立天文台は, すばる望遠鏡により世界の第一線に立った日本の光赤外線天文学研究をさらに発展させるため, 国際共同科学事業としてハワイ島マウナケア山頂に口径30mの超大型望遠鏡TMTを建設するプロジェクトを推進している。TMTの実現により, 日本の研究者がすばる望遠鏡のユニークな広視野探査観測機能などと連携した研究を展開し, 世界的な成果を上げることを期している。科学的成果に直結する観測装置のなかで, 日本は近赤外撮像分光装置IRISの撮像系の製作を担当することが決定しており, 国立天文台で開発・設計を進めている。IRIS撮像系開発・製作の総責任者として, 開発・性能評価の管理, 国際的なIRISチームとの折衝にあたる准教授を募集する。この責任者は, 国際的に組織されているIRIS製作チームと折衝し, 国内外の研究者とコミュニケーションをとりながら, 装置の仕様やイ

ンターフェースの決定, その他のドキュメントの作成および管理を行う。また, 撮像光学系, 機械系の設計・製作, 高精度位置天文観測の検討, 性能試験プラン作成などについて, 開発グループの研究者, 技術者をマネージし, 開発の総括を行う。この責任者には, 観測装置または実験機器開発についての経験と光学系・機械系の知識を有し, 国立天文台におけるIRIS開発チームをリードできる力量が求められる。また, 国際協力で装置全体をつくりあげるために必要なコミュニケーション能力と英語力を期待する。

5. (1) 決定後なるべく早い時期 (2) なし
6. 大学院博士課程修了, またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書 (写真貼付), (2) 論文リスト, (3) 研究歴 (観測装置・実験機器等の開発の実績, 国際協力での開発の経験を含む), (4) 今後の職務に関する計画書, (5) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
8. 2014年10月10日 (金) 17時必着 (日本時間)
9. (1) 応募書類は apply-tmt-associate20141010@nao.ac.jp へメール添付で送付のこと。
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台TMT推進室室長 白田知史
Tel: 0422-34-3522
e-mail: usuda@naoj.org
10. すべての応募書類 (上記7.の(1)-(5)) はそれぞれPDFファイルに変換し, メールに添付すること。
・PDFファイル作成にあたっては解像度に注意し, あまり容量が大きくなりすぎないようにすること (メール1通につき最大10MB程度まで)。
・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします。それが届かない場合には,
apply-tmt-associate20141010@nao.ac.jp へお問い合わせください。

11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

国立天文台研究教育職員（チリ観測所准教授）

1. 准教授1名
2. (1) 国立天文台チリ観測所，着任後先端技術センターに異動
(2) 東京都三鷹市
3. 応用物理学，電気・電子工学，または電波天文学
4. 国立天文台は，日米欧3極による国際プロジェクトであるALMA望遠鏡をはじめとして，さまざまな電波望遠鏡を運用している．今回公募する准教授には，国立天文台先端技術センターにおいて，国立天文台が運用するALMAを含めた種々の望遠鏡に搭載するミリ波・サブミリ波帯ヘテロダイン受信機の研究開発および既存受信機の保守，改良の業務に従事することが求められる．特に，ALMA望遠鏡の科学要求に沿って，次世代高性能ヘテロダイン受信機の開発研究を強力に推進していただく．ALMA次世代ヘテロダイン受信機に関しては，現在，以下のような開発項目が想定されており，当面，これらのうち二つ以上を主導していただく．(1) ALMA Band11 (1.0-1.6 THz) 帯低雑音ヘテロダイン受信機の開発．(2) ALMA望遠鏡への搭載が可能なマルチピクセルヘテロダイン受信機（フォーカル・プレーン・アレイ受信機）の開発．(3) 1オクターブの観測周波数帯域を有する低雑音ヘテロダイン受信機の開発．(4) 20 GHz以上の瞬時帯域幅（中間周波数（IF）帯域幅）を有する低雑音ヘテロダイン受信機の開発．
なお，上に述べた職務に加えて，応募者は電波天文観測装置に卓越した知識・経験をもち，国際ALMA受信機開発チームの主要メンバーとして活躍できる資質をもっていることが期待される．特に，日本国内や諸外国の関係者（研究者を含む）と良好な協力関係を構築し維持できるコミュニケーション能力が必須である．Face-to-face会議やビデオ会議，電話会議等において，議論をリードできる英会話能力を有していることが望ましい．
5. (1) 決定後なるべく早い時期，(2) 任期なし
6. 5年以上の低雑音受信機に関する研究開発の経験を有すること．工学または理学の分野で修士の学位を有するか，またはそれと同等以上の方が望ましい

7. 以下の書類（英文）をpdfファイルとし，電子メールに添付して送付してください．
(1) カバーレター，(2) 履歴書（研究歴も含める：個人としての研究業績の他に，多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください），(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し，共著の場合は役割分担を記すこと），(4) 主要論文3編のpdfコピー，(5) 職務に対する抱負と計画，(6) 本人について意見を述べられる方（複数）の氏名と連絡先，(7) できるだけ迅速に連絡がとれる連絡先（e-mailアドレス，電話番号）．
8. 2014年10月1日（水）17時（日本時間）必着
9. (1) e-mail（応募専用）：
apply-alma-associate20140901@nao.ac.jp
メールのSubject欄に“application for Associate Professor of NAOJ Chile Observatory”と明記してください．
(2) 国立天文台チリ観測所長 長谷川哲夫
e-mail: tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp
メールのSubject欄に“question on Associate Professor of NAOJ Chile Observatory”と明記してください．
10. ・すべての応募書類（上記7.の(1)-(7)）はそれぞれpdfファイルに変換し，メールに添付すること．
・pdfファイル作成にあたっては解像度に注意し，あまり容量が大きくなりすぎないようにしてください（メール一通最大10 MB程度まで）．
・郵送や直接持参による応募は受け付けません．
・応募書類は本件の選考以外のいかなる目的にも使用しません．
・応募書類が受理されると祝休日を除き3日以内に受理確認のメールをお送りします．それが届かない場合には，
apply-alma-associate20140901@nao.ac.jpへお問い合わせください．
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

平成27年度国立天文台フェロー (年俸制特任助教)

国立天文台フェローは、自立した優秀な若手研究者を採用し、国立天文台において研究活動を行っていた制度です。平成26年度は3名を採用しています。

1. 年俸制特任助教 若干名
2. (1) 受入責任者の所属するプロジェクト, センター, 研究部
(2) 国立天文台の三鷹, 水沢, 野辺山, 岡山, ハワイ, チリのいずれかのキャンパス
3. 天文学および関連分野
4. 基本的に義務的勤務はなく, 研究や開発に専念していただきます。
5. (1) 平成27年4月1日以降. ただし平成27年9月30日までに着任していただきます。
(2) 原則として着任日より5年間ですが, 年度ごとに業績評価を受けていただくこととなります。任期満了後の再任はありません。
6. 博士の学位を取得した者または平成27年3月31日までに取得見込みの者。
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究論文リスト(査読論文と, その他を区別し, 共著論文の場合は著者名をすべて明記すること), (4) 主要論文3編のpdfファイル, (5) 研究計画書(受け入れ責任者を明記のこと), (6) 応募者に対する評価書1通。
8. 平成26年9月15日(月) 正午(応募フォームでの応募書類と評価書の投稿)
9. (1) 次のURLの応募フォームにアクセスし, 必要事項の入力と必用書類のアップロードを行うこと。 <https://application.nao.ac.jp/2015/>
評価書は, 応募フォームにある説明に従い, 評価者がアップロードすること。
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台研究連携主幹
郷田直輝
Tel: 0422-34-3616
e-mail: appl-fellow2015@nao.ac.jp
10. 応募投稿が受理されると, 自動的に確認メールが送られますが, それが届かない場合はappl-fellow2015@nao.ac.jpへ問い合わせること。
11. 採用審査: 書類および面接により候補者を選考し, 運営会議の議を経て年俸制特任助教として採用を決定します。身分・待遇: 裁量労働制の常勤職員として月額50万円の給与および通勤手当,

年間100万円の研究費が支給されます。着任のための旅費・移転費も支給します。米国ハワイ州外よりハワイ観測所(ハワイ州ヒロ市)に着任する場合, またはチリ共和国外よりチリ観測所(サンチャゴ市)に着任する場合には, 各々ハワイ手当, チリ手当相当額を加算し, 月給は77万円となります。健康保険, 年金については文部科学省共済組合に加入していただきます。ボーナス, 退職金の支給はありません。科学研究費助成事業への応募資格があります。国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており, 業績の評価において同等と認められた場合には, 女性を積極的に採用します。詳しくは <http://open-info.nao.ac.jp/danjokiyodo/> をご覧ください。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果(前所属)
3. 着任時期

名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻教員

1. 2014年3月(第107巻第3号)
2. 小林 浩(名古屋大学大学院理学研究科特任助教)
3. 2014年8月1日

賞の推薦

2014年6月
一般財団法人女性科学者に明るい未来をの会
会長 米沢富美子

2015年度「第35回猿橋賞」受賞候補者の推薦依頼

女性科学者に明るい未来をの会は、「女性科学者のおかれている状況の暗さの中に、一条の光を投げ、いくらかでも彼女らを励まし、自然科学の発展に貢献できるように支援する」という願いをこめ、1980年に創立されました。この創立の趣旨を継承し、当会は、これまで自然科学の分野で、優れた研究業績を収めている女性科学者に、毎年、賞(猿橋賞)を贈呈してまいりました。第35回猿橋賞の募集を開始いたしました。

募集要項をホームページ<http://www.saruhashi.net/>に掲載いたしました。

つきましては、下記事項を貴学会会員へ広くお知らせいただきたくお願い申し上げます。

電子メールによるお知らせ、雑誌等への掲載文の例を下記に掲げさせていただきます。

何とぞよろしくお願い申し上げます。

記

- 1) 対象：推薦締切日に50歳未満で、自然科学の分野で、「創立の主旨に沿った」優れた研究業績を収めている女性科学者
- 2) 表彰内容：賞状、副賞として賞金30万円、1件(1名)
- 3) 応募方法：当会のホームページ<http://www.saruhashi.net/>から推薦書類をダウンロードし、A4用紙に印刷して、①推薦者(個人・団体、自薦も可)・受賞候補者の略歴・推薦対象となる研究題目②推薦理由(800字程度)、および③研究題目に関連する主な業績リスト(指定は1頁です。やむをえない場合でも追加は1頁までです)を記入して、主な論文別刷5編程度(2部ずつ、コピーも可)を添え、5)の推薦書類送付先までお送りください。
- 4) 締切日：2014年11月30日(必着)
- 5) 推薦書類送付先：〒270-1147 千葉県我孫子市若松165-5
女性科学者に明るい未来をの会
(当会の本宛先は推薦書受付専用です。書類は、猿橋賞選考のためにのみ選考委員会などで用いられます。書類は返却いたしませんのでご了承ください)
・今後、募集要項に変更がある場合は、ホームページに掲載いたしますので、応募の際はホームページをご確認ください。なお、この件についての問い合わせは、下記に電子メールでお願いいたします。
saruhashi2015@saruhashi.net

研究助成

平成27年度笹川科学研究助成

平成27年度笹川科学研究助成につきましては、例年どおりに募集を行うこととなりました。なお、募集対象者である大学院生には修士課程も含まれておりま

すので、多数のご申請をお待ちしております。

また、申請の方法は、本会webサイトにて該当する分野の「申請登録フォーム」で登録すると、メールにて申請書が届きますので、作成した申請書を郵送にて提出してください。

◆詳細は、本会Webサイトをご覧ください。

<http://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/>

《募集告知ポスター》

下記URLよりダウンロードして、掲示板等に掲示してください。

<http://jss.or.jp/h27poster.pdf>

《募集期間》

○学術研究部門：平成26年10月1日-15日

○実践研究部門：平成26年11月1日-14日

《お問合せ先》

公益財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係
〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5F
Tel: 03-6229-5365 Fax: 03-6229-5369
e-mail: josei@jss.or.jp
URL: <http://www.jss.or.jp>

会務案内

- I. 公益社団法人日本天文学会2013年度(2013年4月1日~2014年3月31日)事業および決算の報告
事業・決算報告書の電子版を天文学会ホームページ上(<http://www.asj.or.jp>)で公開しておりますが、書面による配付を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務室までご連絡ください。
- I-1. 2013年度事業の報告
活動内容はおおむね例年どおりでした。欧文研究報告、天文月報、年会予稿集、ジュニアセッション予稿集の刊行、各種委員会活動、各賞の授与、助成金(早川基金: 21名に総額約425万円援助、学術交流費: 年会学生発表者41名総額約74万円補助、内地留学奨学金: 該当者なし)、後援事業に関する事業を行いました。詳しい事業報告は学会ホームページを参照してください。
2014年3月31日の会員数は以下のとおりです。

| | 正会員（内学生） | 準会員 | 団体会員 | 賛助会員 | 合 計 |
|------------|-------------|-------|------|------|-------|
| 2013年4月1日 | 1,754 (254) | 1,164 | 37 | 42 | 2,997 |
| 入 会 | 108 (99) | 28 | 1 | 0 | 137 |
| 退 会 | △ 77 (46) | △ 33 | 0 | 0 | △ 110 |
| 移籍（増） | 19 (2) | 11 | — | — | 30 |
| 移籍（減） | △ 11 (2) | △ 19 | — | — | △ 30 |
| 2014年3月31日 | 1,793 (307) | 1,151 | 38 | 42 | 3,025 |

（注：移籍とは正会員，準会員との間の移動のことを指す）

（文責庶務理事：中村文隆）

I-2. 2013年度決算の報告

2013年度の経常収益は90,066,632円，経常費用は80,302,348円で，経常収益・経常費用とも通常年度とほぼ同様でした。学会の正味財産は8,626,785円増えて129,152,726円となりました。

受取会費は42,161,000円で，一般事業および法人会計に充てています。一般事業はこの会費と事業収益で運営され，助成事業は御寄付によって運営されています。事業別決算書内訳表は以下のとおりです。

事業別決算書内訳表

2013年4月1日から2014年3月31日まで

公益社団法人 日本天文学会

（単位：円）

| 科目 | 公益目的事業会計 | | | | | |
|---------|------------|-------------|--------------|------------|-------------|-------------|
| | 一般事業 | | | | | |
| | 共通事業 | 欧文事業 | 月報事業 | 年会事業 | その他の事業 | 小計 |
| 経常収益計 | 20,404,239 | 26,962,704 | 3,635,257 | 11,043,500 | 851,284 | 62,896,984 |
| 経常費用計 | 7,644,822 | 30,698,064 | 13,944,407 | 9,051,491 | 3,018,504 | 64,357,288 |
| 当期経常増減額 | 12,759,417 | △ 3,735,360 | △ 10,309,150 | 1,992,009 | △ 2,167,220 | △ 1,460,304 |

| 科目 | 公益目的事業会計 | | | | | | |
|---------|-----------|--------|----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 助成事業 | | | | | | 公益目的事業合計 |
| | 学術交流費事業 | 内地留学事業 | 研究奨励賞事業 | 早川基金事業 | 林賞事業 | 小計 | |
| 経常収益計 | 1,410,941 | 735 | 343,422 | 4,261,869 | 350,449 | 6,367,416 | 69,264,400 |
| 経常費用計 | 748,385 | 735 | 407,997 | 4,261,869 | 471,199 | 5,890,185 | 70,247,473 |
| 当期経常増減額 | 662,556 | 0 | △ 64,575 | 0 | △ 120,750 | 477,231 | △ 983,073 |

| 科目 | 法人会計 | 内部取引消去 | 合 計 |
|---------|------------|--------|------------|
| 経常収益計 | 20,802,232 | 0 | 90,066,632 |
| 経常費用計 | 10,054,875 | 0 | 80,302,348 |
| 当期経常増減額 | 10,747,357 | 0 | 9,764,284 |

2014年度 日本天文学会 林 忠四郎賞受賞候補者および欧文研究報告論文賞受賞候補論文推薦のお願い

林 忠四郎賞選考委員会

標記の二つの賞について、受賞候補者と論文の推薦をお願いします。締切は両賞とも2014年11月11日(火) (必着)です。以下に述べるそれぞれの要領に従って記入した推薦書を、〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会宛に郵送してください(論文賞についてはe-mailも可)。なお、封筒には「林 忠四郎賞候補推薦書」または「欧文研究報告論文賞候補推薦書」と表記してください。特に返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞とも本会春季年会開催時の会員全体集会にて行う予定です。

林 忠四郎賞の推薦は2年間有効です。欧文研究報告論文賞の推薦は毎年リセットされます。「原則として1年に2件以内」と内規に定めがありますので、優れた論文であっても受賞に至らない場合があります。優れた論文は複数回推薦していただくことを奨励します。

2014年度(第19回) 林 忠四郎賞推薦要領

この賞は、林 忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士が日本天文学会に寄付された金額を基金にして設定されたものです。

対象: 広い意味での天文学(天体物理学, 宇宙物理学, 他の関連テーマも含む)における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

授賞件数: 原則として各年に1件。

賞状等: 本賞として賞状, 副賞として賞牌(メダル)および賞金(30万円)。

推薦書の形式: 表題は「2014年度 林 忠四郎賞候補者推薦書」としてください。A4サイズの用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者(被推薦者, 連名授賞可)について: 氏名(ふりがな), 生年月日, 大学卒業年, 現職および連絡先(電話, Fax, e-mail)
- 2) 授賞対象とする研究の表題(英語表記も)
- 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職, 連絡先(電話, Fax, e-mail), 被推薦者との関係

- 4) 推薦理由の要旨(300字以内)
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー(3編以内)

2014年度(第19回) 欧文研究報告論文賞推薦要領

この賞は、良い論文がPublications of the Astronomical Society of Japan (PASJ)に投稿・出版されるのを奨励するために設定したものです。なお、本賞の選考委員会は、林 忠四郎賞選考委員会が兼ねることになっています。

対象論文: 原則として過去5年以内にPublications of the Astronomical Society of Japanに出版された論文のうち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者(共著の場合はすべての共著者)に授与する。

授賞件数等: 原則として1年に2件以内。賞状と副賞を授与する。

推薦書の形式: 表題は「2014年度欧文研究報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズの用紙(e-mailでも可)に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について: 論文題目, 筆頭著者名, 出版された巻, ページ, 発行年
- 2) 推薦理由(1,000字程度)
- 3) 推薦者について: 氏名(ふりがな), 現職・連絡先(電話, Fax, e-mail), 被推薦者との関係
- 4) e-mailで推薦する場合はjimuj@asj.or.jp宛に送信して、受領メールを必ず確認してください。

2014年度研究奨励賞(第26回) 候補者推薦のお願い

研究奨励賞選考委員会

本会は、優れた研究成果を上げている若手天文学者に対して、日本天文学会研究奨励賞を授与しています。

受賞資格は

- 1) 日本天文学会正会員で、最近5年間における天文学への寄与が顕著なる者
- 2) 当該年度初日(2014年4月1日)で35歳以下の者

です。毎年3名以内を対象とし、賞状、賞牌(メダル)および賞金(10万円)を併せて授与しています。皆様からの多数の候補者の推薦をお待ちしております。選考

委員会では推薦された方の中から、研究奨励賞内規に基づき選考を行い、候補者を代議員総会に推薦します。受賞候補者の推薦要領は

- (1) 締切：2014年11月10日（月）必着
- (2) 提出書類：○候補者氏名、会員番号、現職、生年月日、○授賞対象とする研究の表題（英語表記も）、○推薦者の氏名、現職、連絡先、○推薦理由（300文字程度の要旨とA4で2-3枚程度の本文）、○関連論文リスト、○推薦に関連して最も重要な論文のコピー（3編以内）
- (3) 提出先：できるだけ、e-mailで応募してください。e-mailの場合はjimu@asj.or.jp宛にsubject「2014研究奨励賞応募 氏名」としてお送りください。また、提出書類は一つのpdfにまとめ、ファイル名を「2014kenkyushorei_full name」としてください。

郵便で提出する場合は

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

日本天文学会研究奨励賞選考委員会

へ送付してください。

2014年度（第14回）天文功労賞候補者推薦のお願い

天体発見賞選考委員会

この賞は、近年多岐にわたっている研究機関外での天文活動、例えば長年の天体観測や、突発的な現象の検出や的確な通報などを、称賛し奨励するためのものです。賞の対象となる功績は、天体発見賞・発見功労賞の枠外となっている天文観測・研究活動全般です。対象者は、「天文研究を主たる業務としない」個人および団体で、日本天文学会の会員であるかどうかは問いません。選考は、天体発見賞選考委員会が行い、候補者を代議員総会に推薦します。

天文学会の会員の方々からの候補者（団体）推薦を、広く募集します。A4紙1枚程度で、候補者（団

体）名、功績名（1行程度）、功績の説明を書いていただき、日本天文学会事務所（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内/Fax: 0422-31-5487/jimu@asj.or.jp）にお送りください。郵便・Fax・電子メールのいずれでも結構です。

推薦は随時受け付けておりますが、今回の選考に確実に乗せるには、2014年12月26日までにお送りいただくようお願いいたします。なにとぞ多数のご推薦をよろしくお願いいたします。

編集委員会より

天文月報表紙デザイン案大募集！

2015年1月号から12月号までの表紙を飾るデザインを募集します。

表紙は、題字（『天文月報』の文字）、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー写真および背景イラストから構成されます。毎月違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。

具体例は、今年または過去の天文月報をご覧ください。（天文月報のホームページのバックナンバー（<http://www.asj.or.jp/geppou/contents/index.html>）に表紙画像があります。）

応募される方は、新設の天文月報投稿用アップローダーまで、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。

形式は問いません。雑誌のサイズは、B5判タテ（182ミリ×257ミリ）です。採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。

また、採用者をご紹介いただいた会員の方には粗品を差し上げます。

締切り：2014年9月末日

送り先：天文月報編集委員会

次ページの天文月報投稿用アップローダーまで

天文月報記事投稿用アップローダー

<http://www.asj.or.jp/geppou-office/toukou/index.php>

■ログイン法

login: geppou passwd: toukou

■アップロードの仕方

アップロード画面にいったまず必要事項を埋めてください。

するとアップロードに進むことができます。ファイルが複数ある場合は「投稿フォームを増やす」ボタンを押してください。押すたびに欄が増えます。

1回あたり全部で最大50 Mbyteまで送信できます。(それ以上の巨大なファイルのアップロードは推奨されませんが、やむをえない場合は分割してお送りください)。

■注意

投稿者の個人の認証はcookieを利用しています。

したがってcookieを受け取らないブラウザでは使えません。

またformのcheckや可変個数のアップロードボックスはjavascriptを利用していますのでjavascriptが使えなければこのuploaderは使えません。

その場合は従来どおり、toukou@geppou.asj.or.jpまでメールでご投稿ください。

■連絡先

アップローダーに関するテクニカルなご質問は

yousuke.utsumi@nao.ac.jpまで、

またその他のご質問はtoukou@geppou.asj.or.jpまでお願いします。

(天文月報編集長)

天文月報記事ご執筆用テンプレート (SKYLIGHT, EUREKA, 天球儀)

ご執筆者のために日本天文学会HPに「投稿用Tex/MS Wordテンプレート」をご用意いたしました。

<http://www.asj.or.jp/geppou/yoko/template.html>

texで執筆される方はtex/あるいは文字コードに応じてu_Tex2/, MSWordで執筆される方はword/をご利用下さい。詳しくは各readmeをお読み下さい。

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と) **vol198**(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 市来浄與, 大栗真宗, 勝川行雄, 富永 望, 平松正顕, 廣田朋也, 馬場 彩, 前野将太, 町田正博, 吉田二美

平成26年8月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2014年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)